

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

高知県 須崎市

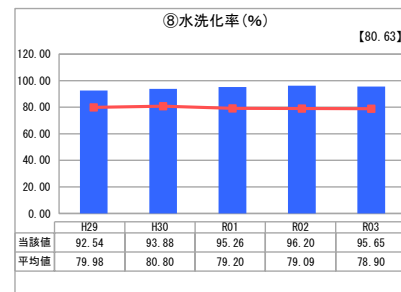
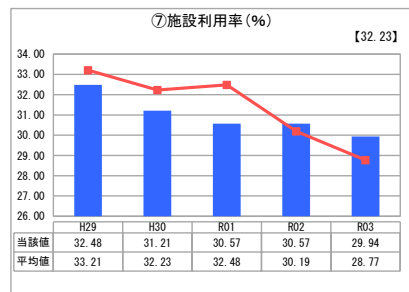
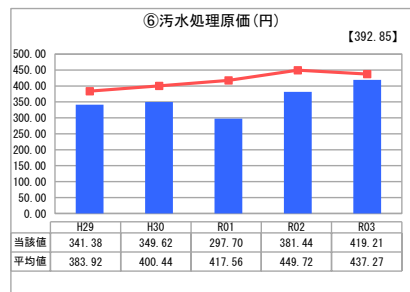
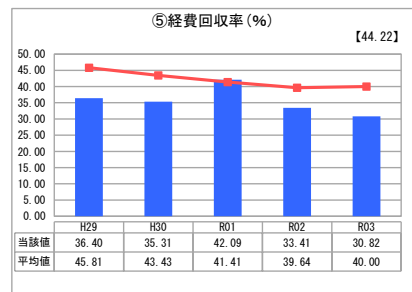
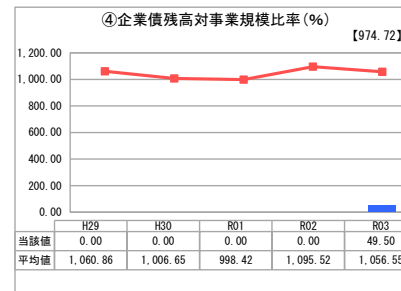
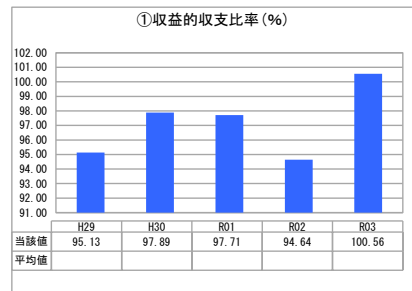
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.91	100.00	2,250

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
20,603	135.35	152.22
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
184	0.05	3,680.00

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

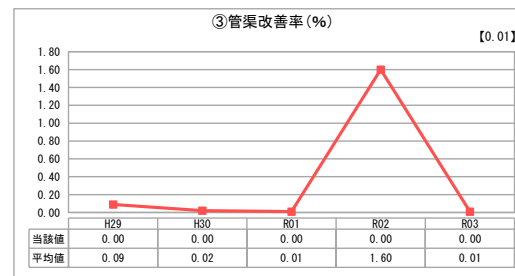
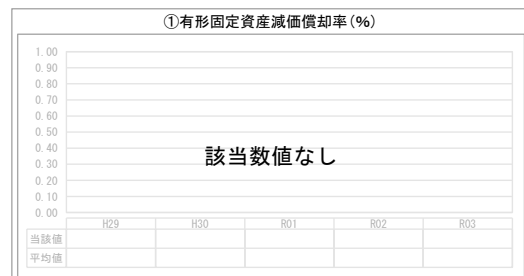
### 1. 経営の健全性・効率性について

近年、漁業集落の人口減少が進み、それに伴い排水処理施設の利用者も減少している。現在では、生活排水処理構想において施工当初の計画で想定していた利用者数を大きく下回っており、それに伴い徴収可能な使用料も減少している。そのため、処理施設の使用料（収益）のみでは、処理費用を賅えず、公費による補填で運営している状態である。また、一部地域において、現施設の処理能力に対し、実際の汚水処理量が大きく下回っており、汚水処理に係る単価自体も上昇傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

中ノ島地区は平成7年供用開始以降、また池ノ浦地区は平成12年供用開始以降において、管渠の更新・改良・修繕は行われていない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現状では、当初計画における想定利用者数を大きく下回っている地域があることから、実情に合った運営を行うため、今後は施設の規模縮小などを視野に入れた取り組みを進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。